

## 特別養護老人ホーム いこいの杜

## 1 基本方針

入居者が、楽しく生き生きと安心して過ごすことが出来る環境作りに努める。

よりよいサービスを提供するために、専門職としての倫理と誇りを持ち、技能の研鑽に努める。

入居者、家族、地域住民との連携を強め、地域に開かれた信頼される施設づくりに努める。

入居者一人ひとりの尊厳と個別の暮らしが大切にされ継続できるよう、家庭的な環境と暖かで専門的ケアの中で支援するとともに、地域との連携を大切に、信頼され透明性の高い施設運営を目指す。

## 2 利用者の状況（令和7年3月31日現在）

## （1）入退所の状況

| 定 員 |     | 前年度末<br>利用者数 | 令和 6 年度中の入退所状況 |     |          |               |          |     | 利 用<br>延人員 | 年間平均<br>稼 働 率 | 年 度 末<br>利用者数 |
|-----|-----|--------------|----------------|-----|----------|---------------|----------|-----|------------|---------------|---------------|
|     |     |              | 入所             | 退所  | 退所理由別    |               |          |     |            |               |               |
|     |     |              |                |     | 施設<br>移管 | 契約解除<br>(入院等) | 家庭<br>復帰 | 死亡  |            |               |               |
| 80人 |     | 80人          | 21人            | 21人 | 0人       | 6人            | 0人       | 15人 | 28,099人    | 96.23%        | 80人           |
| 5年度 | 80人 | 69人          | 32人            | 21人 | 1人       | 12人           | 2人       | 6人  | 26,479人    | 90.43%        | 80人           |

## （2）利用者の介護度別人員

| 性別  | 要介護1 | 要介護2 | 要介護3 | 要介護4 | 要介護5 | 計   |
|-----|------|------|------|------|------|-----|
| 男 性 | 0人   | 0人   | 4人   | 10人  | 10人  | 24人 |
| 女 性 | 0人   | 0人   | 3人   | 23人  | 30人  | 56人 |
| 計   | 0人   | 0人   | 7人   | 33人  | 40人  | 80人 |

（平均介護度4.41）

## 3 事業の実施状況

## （1）多職種協働によるチームケアの充実

## ア 認知症ケア

人として尊重し、その人の立場になって考えるパーソンセンタードケアの理念に立ち返り認知症人の権利擁護を主とする研修を実施。

また、認知症介護実践者研修修了者による復命から情報の整理、課題分析などアセスメントの視野を広げるデータ活用や症状のある人の思いに寄り添うアプローチの仕方、リフレーミング（共感）に必要な手法の知識の向上を図った。

4月よりこれまで行っていた認知症ケア推進委員会を認知症チームケア推進委員会に改め、チームケアに必要な専門講座を12名が受講し、行動・心理症状（BPSD）についてチームケアの取り組み方を学んだ。

8月より対象者を選定し手法に基づき認知症の人の視点に立ったケアのPDCAサイクル体制を定着させた。現在2名の方のケースに取り組んでいる。

認知症研修として8月「認知症の人は何を考えているのか、安心してもらえるケア・4つのアプローチ」、1月「自立支援・認知症～BPSDについて」全員対象に実施した。

引き続き認知症の人の権利擁護を主としチームアプローチ手法の取り組みを研究し充実させていく。

## イ 口腔嚥下機能

4月より義務化となった〈口腔衛生管理の強化〉の体制整備及び定着化に取り組んだ。

特に歯科医師による口腔健康状態の評価及び研修（年2回）など医療との連携体制、介護・看護による個別口腔評価（毎月）をもとにした口腔健康相談などの仕組みを整え軌道に乗せた。

また、嚥下・摂食障害予防として口腔体操、口腔マッサージなど委員会を中心に多職種協働で各ユニットの取り組みに働きかけた。

6ヶ月に一度口腔マネジメント計画の作成・実践・評価により歯科医師による技術的助言・指導を受け日々の口腔ケアの向上に繋がった。

6月いながき歯科医師講師による口腔ケア研修（全員視聴のため動画撮影）の実施、11月歯科衛生士による口腔ケアの実践研修（手元カメラによるリアル実践撮影）を実施した。

#### ウ 事故防止

5月所内研修会において事故発生防止のための指針の確認、6月介護事故防止研修復命、11月「なぜなぜシート」を活用した課題分析に取り組み原因を探る研修を実施し、安全対策に必要な組織的なリスク管理や生活環境が及ぼす影響、気づきなどから安心・安眠な生活に結びつける視点での重要ポイントをそれぞれのユニットで考えた。

また、眠りスキャン活用による「自分で出来る」意識を大切にしたい自立行動援助や早期対応による転倒防止に努めた。

#### エ 身体的拘束適正化・虐待防止

5月所内研修会において身体拘束適正化指針・虐待防止指針内容の確認及び不適切ケアを含む基本的な考え方により人権意識を高める研修を実施した。

6月身体拘束の条件と虐待防止の視点として「不適切ケアと虐待」「身体拘束を行ってはいけない理由」、9月人権研修「高齢者虐待について」、10月「身体拘束をしないための具体策」、「障がいのある人の人権」「心のユニバーサルデザインについて」「部落差別について」「トランスジェンダーについて」など年間通して意識強化を図った。

虐待防止アンケート（年1回）、虐待の芽チェック（年2回）、毎月個別リスク確認、ケアについての悩みや課題等の情報共有をユニット会議で実施した。

身体拘束適正化委員会及び虐待防止検討委員会を3ヶ月毎に開催し、第三者委員の意見をもとにサービスの向上に繋がった。

#### オ 医療的ケア

経管栄養16名、医療と介護が連携し安全な医療的ケアを実施した。

喀痰吸引資格1名取得、看護師のためのユニットケア研修2名受講修了

経管栄養・喀痰吸引医療的ケアフォローアップ研修 5月经管栄養、11月喀痰吸引対象50時間資格取得者34名DVD視聴した。

医務室研修として薬剤師を招き「薬剤師による薬の研修」を9月、2月の2回実施した。

重度化に伴い体調変化の観察の強化及び小さな事でも緊急カンファレンスを開催し、早期発見早期治療に努め、健康な生活の継続に努めた。

#### カ エンド・オブライフケア

6名の看取りを実施。家族の心に負担のかからない安心を伝える情報提供の仕方に努め、看取りの家族に限って24時間自由な面会とし貴重な家族の時間を大切にしたい。

9月「看取りの基本」研修、1月「エンゼルケア講座」研修実施した。

#### キ 自律支援

日常生活の報告をもとに個々の身体状況変化や課題に早期に着目し、各分野が専門的な視点で前段的な話し合いを設ける体制を行った。身体機能の維持、リスクの予測などから自分の力で食事を食べることができる、自分の足を地に着けることができる感触などの視点で自分の力が発揮できる生活の継続に重点をおきカンファレンスに繋がっていった。

また、福祉用具の基本的な活用方法の研修により安全かつ適切な使用の促進を図った。

9月福祉用具の基本的な使い方（リフト）研修、褥瘡予防（ポジショニング含む）研修を実施した。

## （２）経営改善・基盤の確立

ア 稼働率は、４月～３月平均稼働率96.22%と目標稼働率96%を上回った。空所日数の解消を図るため退所から入居手続きまでの短縮化に努め流れが定着した。近年、医療を必要とする重篤な人の入所申込みが増えており、これまで以上に医療機関との密な連絡調整に努め入所に繋げていった。

イ あらゆる災害に備え、災害物品の点検や日中避難訓練、夜間想定避難訓練、消火訓練、自然災害時炊き出し訓練、不審者等防衛阻止訓練を実施した。また、ホットライン・さくらメール同時一斉通信訓練や緊急時対応研修、救急救命講習、災害・感染症 BCP 研修などの実践も規定回数に沿って実施した。防火管理者講習修了者１名取得。

ウ インフルエンザ、コロナウイルスなど感染症発生状況に合わせ感染蔓延対策を実施した。コロナ感染症３件（入居者）発生し防護体制実施、陽性者確定によりユニット全体から個室へとレッドゾーンを縮小化、その都度、嘱託医の助言・指示を受けながら感染拡大防止に努め、大きく広がることは無かった。

面会は年間通して居室面会実施。各ユニット玄関からの出入りを基本としたが、一部高齢家族や身体機能にあわせエレベータが使える建物の中を歩いてユニットに入って頂くなど面会のしやすい体制に努めた。５、６人以上の大人数の面会は広い空間で対応した。

４月、９月感染症シミュレーション研修（ガウンテクニック実践、マニュアル机上確認）実施。５月熱中症研修、６月食中毒・手洗い講習、１１月ノロウイルス感染症対応研修実施。１２月認定看護師による（県立中央病院）感染症研修会実施。不参加者は撮影動画を後日視聴した。外部講師 認定看護師による研修は３年に１度予定している。

１０月インフルエンザワクチン接種（入居者７５名、職員希望者）１１月コロナワクチン接種（入居者６０名）

## （３）職員資質の向上と人材育成

ア ユニットリーダー研修座学２名、実地２名修了、認知症介護基礎研修４名修了、認知症介護実践者研修３名修了、認知症チームケア推進研修６名修了、喀痰吸引研修１名修了、修了、安全対策担当者養成研修２名修了、介護福祉士養成実習指導者研修１名修了、喀痰吸引等指導者研修１名修了、介護支援専門員更新研修２名修了した。介護福祉士２名資格取得、社会福祉士２名資格取得。

イ 個人研修目標による研修受講など勤務シフトの調整や情報提供を行い、専門性を高める意識の向上を図った。

所内での研修は体系を小グループ化、ネット配信活用など受講しやすい体制を整備し、学ぶ機会を増やした。お茶の水ネット配信、老施協動画配信 YouTube などの動画を活用し分かりやすく情報提供を工夫した。エルダー制による新任職員育成３名実施。

## （４）地域との連携・交流の促進

学生ボランティア（高校生）、資格取得に必要な実習等の受入れ、施設見学者の受入れなど次世代の育成や施設情報発信に努めた。

地域との交流は継続して中ノ茶屋自治会の協力を得ながら一人暮らし高齢者（１０名）への手作り和菓子を２回（７月、１２月）提供し心の交流を図っている。

余暇活動については毎月、生け花、ミュージックケア、法話、赤ちゃん親子とのふれあい、写真展示などボランティア受入れの継続を図っている。

８月公民館交流（湖山西）として、４年ぶりに「お茶の先生と小学生１２名のお茶会交流」を開催した。お茶を習っている生徒から出た意見によるもので活動が復帰した。新聞取材を受け掲載された。

２月介護講師派遣として湖陵高校食事支援講義１名出校、９月警察学校福祉学習介護講義１名出校、翌日、警察学校車椅子講習施設体験のため訓練生６名受入れ訓練指導員による講習実施、１０月介護職員等による吸引等の基本研修講師看護師２名派遣した。

#### (5) 労働環境の整備

ア 福祉機器の活用、眠りスキャンによる睡眠状態や呼吸、心拍数などリアルタイムな機器からの情報により、特に夜間は目に見える安心感として夜間勤務者の精神面・健康面の負担軽減に繋がっている。

また、日中に活動の変化の見られる方の睡眠計測データは原因分析のヒントに活用できるため今後の活用展開（ケース検討など）を進めていく必要がある。

そして、今後は複数の体動変化をキャッチする機能を使い熟し、職員の安心やリスク軽減に展開するよう研究したい。

生産性向上の取り組みとして9月委員会開催（新設）、業務の改善や効率化により生み出した時間を介護負担軽減（楽しい職場・働きやすい職場）や介護サービスの質の向上に繋げていくため取り組み、課題分析に向けてスタートさせた。今後職員からの課題を抽出し活動を展開させていく。

イ 毎月ユニット会議で支援等に関する悩みを情報共有する仕組みを定着させている。

個別的なストレス、メンタル変化のキャッチは周囲の職員の気づきやコミュニケーションなどから、当人の相談以外のサインに気を付け早い段階で取り組みダメージを小さくするように努めた。

9月ストレスチェック実施し安全衛生委員会で産業医による分析、アドバイスを受けた。

12月「介護施設におけるハラスメントに関する職員研修」、2月「メンタルヘルス対策」復命研修、「アンガーマネジメント」研修などからセルフケアの方法や上司面談、個別アドバイスなどストレス対策に努めた。

新任職員育成として、エルダー制や習熟度に合わせた見習い期間の調整など、不安軽減に配慮した支援を実施している。

職員の日常生活においても重要視し、勤務希望の配慮など働きやすい職場環境作りに留意した。

## 4 実習、ボランティアの受入状況

### (1) 実習の受入実績

| 実習受入先                                         | 受入期間  | 実人員 | 延人員  |
|-----------------------------------------------|-------|-----|------|
| 社会福祉専門学校介護実習                                  | 6月～9月 | 3人  | 41人  |
| 施設相互交換研修（職員派遣研修）厚和寮                           | 7月    | 2人  | 2人   |
| ワクワク湖東職場体験学習                                  | 6月    | 2人  | 6人   |
| 介護労働講習施設見学                                    | 6月    | 27人 | 27人  |
| インターンシップ                                      | 7月・9月 | 2人  | 2人   |
| 社会福祉士相談援助実習（施設見学）                             | 9月    | 1人  | 1人   |
| 警察学校訓練生車椅子講習施設体験（実技）                          | 9月    | 6人  | 6人   |
| 警察学校福祉学習（座学）高齢分野講師1名派遣<br>（障がい・高齢・あいサポート講義講習） | 9月    | 17人 | 17人  |
| 介護労働講習施設実習                                    | 11月   | 2人  | 10人  |
| 県職員採用職員体験研修                                   | 11月   | 2人  | 4人   |
| 湖陵高校食事支援実習（出張講義）                              | 2月    | 20人 | 20人  |
| 計                                             |       | 84人 | 136人 |

### (2) ボランティアの受入実績

ミュージックケア・生け花・法話・コトモ二・湖陵高校お掃除隊・四季の写真展示・油絵展示・リアル粘土細工展示・水彩画展示・お茶会と子ども達の交流会・安心相談員

（計49件：延べ 217人）